

平成29年度 「言語聴覚の日」イベント報告



岩手県

「言語聴覚の日」活動報告(岩手県言語聴覚士会)

岩手県言語聴覚士会には、地域の保健・福祉関連のイベントに参加し、言語及び摂食嚥下障害の普及啓発活動に取り組む、社会部活動があります。

県内を3つのエリアに分け、各エリア2か所、計6か所で、エリア所属の言語聴覚士が中心となり活動しています。この活動に参加することで地域の実情を知ることができ、地域の方とコミュニケーションを取ることが私たちの仕事の理解と地域とのネットワーク形成にもつながると考えています。

当士会では、このイベント参加を「言語聴覚の日」の活動と位置付けて実施しています。

9月23日に行われた「久慈ふれあい福祉まつり」では、あいにくの曇り空のもと、模擬店や健康及び介護相談等、様々なブースが並ぶ中、「ことばのリハビリ相談コーナー」を開設し、嚥下体験と食事やコミュニケーションの相談を行いました。体験をされた方からは、「姿勢でこんなに違うんだ」

「とろみの水ってもっとまずくなると思っていたのに、いろいろあるのね」「家に帰って家族に伝えなきゃ」といったお話が聞かれました。

このイベントでは野外でのステージ発表もあり、嚥下体操(ごっくん体操)を音楽に合わせて参加者の皆さんと行いました。ステージと観覧されている方が一体となり、楽しく体験していただくことができました。

今回の活動を通じて、病院業務だけではなく、地域の行事や研修会での発信を継続していく必要性を強く感じました。

岩手県言語聴覚士会社会部長
鎌田眞智子

